

たま



市議会だより

tama city council

No.234



発行 多摩市議会 〒206-8666 東京都多摩市関戸六丁目12番地1 TEL: 042(338)6890・6891 FAX: 042(372)6761

特集

- ◆ 決算審査がスタート
- ◆ 市長所信表明への代表質問
- ◆ 多摩市消防団へのインタビュー



表紙写真: 匿名希望さん(市内在住)「夕焼けに染まる聖ヶ丘橋」
撮影場所: 聖ヶ丘橋(聖ヶ丘3丁目)

あなたの写真、多摩市議会だよりに
載せてみませんか？

表紙写真 募集中!



多摩市ウェブサイトにて、「議会だより表紙写真」で検索



議会だより表紙写真

検索



特集 決算審査がスタート	2
補正予算の質疑	4
2人の新しい副市長に抱負をうかがいました! ...	4
新議長紹介	4
議案の深議	5
特集 市長所信表明への代表質問	6
一般質問	8
市議会の各会派を紹介します!	13
常任委員会「所管事務調査」中間報告	14
審議結果	15
特集 多摩市消防団へのインタビュー	16

議会による 市の決算審査が スタート!

多摩市議会の決算審査

地方自治体では、年間予算に基づいて執行した事業の結果について、議会による決算審査(事業の進め方、お金の使い方が適切だったのかどうかチェックする)を行うことになっています。議会では、議員個人や会派が、それぞれの事業について調査し、議会で質疑、最終的には、決算を認定するかどうか判断します。

多摩市議会では、予算と決算を関連付けて審査するため、議長を除く全議員を委員とする「予算決算特別委員会」を設置し、その中に4つの分科会(総務、健康福祉、生活環境、子ども教育)を設け、個別事業の調査を行っています。

総務分科会

評価対象事業：シティセールス推進事業

選定理由

- ①長期化するコロナ禍により人々の生活やまちの様子も変わりつつある中で、多摩市をどうアピールするのか。来街者をどう増やしていくのか。若い世代の定住促進などが大変に重要であると考えます。この事業がそれにどう対応したのかを検証します。
- ②職員一人ひとりがシティセールス推進のキーパーソンと認識しています。その先頭に立つ、政策監が不在となった今、どのような影響があったのでしょうか。また、影響があったとすれば、今後どのように対応していくかを検証します。

- ③市民自らが魅力を創り上げ、発信をすることも重要と考えます。例えば商店街は地域の活動拠点となり得るので、シティプロモーションの重要なポイントといえるでしょう。

商店街を中心とした地域活性化についても調査、検証をしていきます。



健康福祉分科会

評価対象事業：健幸まちづくり推進事業

選定理由

健幸まちづくり推進事業は、第五次多摩市総合計画・第2期基本計画の柱の事業であり、第3期基本計画でも、「健幸まちづくりのさらなる推進」が基盤となる考え方に位置付けられています。令和3年度はコロナの影響もあり、あまり進んでいない印象を受けました。一方で、コロナ禍で働き方や生活様式が変わったことにより、健幸に対する興味関心はますます高まっていると感じています。

市民に対する健康維持の意識づけなど新たな手法も必要と考えますが、本事業において、令和3年度は

具体的にどのような活動をしてどのような効果があったのか、全庁横断的な連携は、コロナ禍において市民にどのように役立ったのか、また、市民の健康状態を把握する手法、健康無関心層へのアプローチなどについて議論・確認し、評価を行いたいと思います。



決算と予算の連動

多摩市議会は、2010年(平成22年)に「多摩市議会基本条例」を制定し、その第9条に「決算と予算の連動」を定めています。これを実現するため、4つの分科会でそれぞれ関連する施策や事業の調査研究を行います。

今年度行う令和3年度の事業評価は、各分科会で評価対象事業を選定し、決算の視点を重視した評価を行い、次年度予算に反映させるべく、具体的な改

善ポイント等を指摘する形で行うことにしています。

各分科会で選定した事業について7月から8月にかけて勉強会などを行い、9月16日から28日の間に開催される予算決算特別委員会とその後の本会議において、それぞれの事業に対する「議会の評価」を協議・確定する予定です。

生活環境分科会

評価対象事業：地球温暖化対策事業

選定理由

地球温暖化対策は、地球規模でも地域でも、昨今極めて重要なテーマです。しかし、事業展開の将来性を考えた上での具体案が不足しており、市民への啓発も限定的であると感じています。

令和3年度に行うとされていた啓発事業などの効果や、補助金による再生可能エネルギー・省エネルギー機器等の導入推進について進捗状況を確認し、常任委員会の2年間のテーマである「多摩市気候非常事態宣言」の具体化をどのように進めていくのか、来年度に策定する予定の「多摩すみどり環境基本計画」及び「多

摩市地球温暖化対策実行計画」にどう繋がっていくか、市民協働をどう進めるかの視点で評価したいと思います。

なお、環境保全啓発事業・ごみ減量化推進事業についても同様の視点で調査を行い、本事業の評価に活かしていきます。



子ども教育分科会

評価対象事業：教育活動指導員配置事業

選定理由

平成13年度より多摩市単独の事業として実施された事業です。教育活動指導員(通称：ピアティーチャー)は、主に児童・生徒の個別指導の補助として活用され、学校において、より多くの眼で児童・生徒を見取る指導面での充実とともに、教員の負担軽減においても有効な人的支援となっています。

特別支援学級のみならず通常の学級においても特別な配慮を要する児童・生徒が増えてきているため、学校現場でのピアティーチャーの需要は年々高まり、今後もさらに需要が増えていくことが予測されます。

このような中で、需要に見合う配置がなされていると言えるのか、学校間で差はないか、ピアティーチャー配置で学校運営の安定が図られているのか、特別な配慮を要する児童・生徒の実態に沿った適切な配置となっているのか、さらなる配置の工夫は出来ないか等を検証・協議し評価します。



補正予算の質疑ではこんなことが話題になりました

第2回定例会では、今年度の多摩市一般会計補正予算について、次のような議論がなされました。

困りごと相談をより身近に

民生費 生活困窮者等支援事業



ベルブ永山4階にあるしごと・くらしサポートステーションの2階への移転について質疑があり、これまでの部屋に加え個室が増えることがわかりました。就労支援やひきこもり支援の窓口が常設となり、困窮者の実情に一層即した支援ができるようになることへの評価もありました。また、人目につきやすい場所への移転について、「さらにポスターなどで周知をはかり利用を促進するべき」という意見もありました。

移転費用や家賃に関する質問、また移転前後の閉鎖期間を極力短くする要望など、事業に対して多くの関心が寄せられました。

未来のためにしっかり調査

衛生費 地球温暖化対策事業



ZEB化実現可能性調査業務委託料について、その内容や手法、特に調査結果の活用などに関する質疑がありました。今回の調査は大規模改修予定の施設のうち性質の異なる2施設に関するもので、たとえばZEB化が難しい場合でも、何らかの手段で温暖化対策がとれるよう考慮する可能性もあるとのことでした。ZEBプランナーの関与によって、既存施設の活用に関して調査・研究が進むことへの期待が示されました。

環境対策は本市のみの課題にとどまらないので、本事業の結果を近隣自治体に向けても発信し、ともに目的を遂行することが重要という意見も出されました。

ZEB：Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることをめざした建物のことです。

2人の新しい副市長に抱負をうかがいました！

第1回定例会において陰山峰子氏が、第2回定例会において須田雄次郎氏が、それぞれ新しい副市長に選任されました。



陰山峰子 副市長

経歴

平成4年に東京都に入庁し、令和4年3月31日まで勤務。副市長の任期は令和4年4月1日から令和8年3月31日。

令和4年3月31日付で退任した田代純子氏に代わり、4月1日付で副市長に就任しました。これまで都庁職員として培った行政経験を活かして、多摩市の発展に力を尽くしてまいります。まちづくりを進めるためには市民の皆様のご理解とともに市議会との協力関係は欠かせません。率直に意見交換しながら、市政運営を担っていきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。



須田雄次郎 副市長

経歴

平成元年多摩市入庁、教育部長などを歴任し、6月30日までくらしと文化部長。副市長の任期は令和4年7月1日から令和8年6月30日。

このたび市議会の同意を賜り、副市長に就任いたしました須田です。どうぞよろしくお願い申し上げます。市議会と市長はともに市民の代表。緊張感を保ちつつ、信頼関係の下で議論を重ね、多摩市の自治が前へ進められています。私も市民サービス向上のため、市職員時代の経験と一市民としての感覚を大切にしながら阿部市長を補佐し、職員とともに全力で取り組んでまいります。

新議長に いいじま文彦 議員

4月27日に開催された第1回臨時会で、いいじま文彦議員が新議長に選出されました。



市議会は、二元代表制のもと、市長とともに市民の皆様には選ばれた代表で構成される機関です。新型コロナ禍が収まらぬ現在、全議員の力を結集し、市民の生命・安全を守ることを最優先に考えます。また、議会基本条例に基づいて市民に開かれた、わかりやすい議会活動を行い、さらに市民に寄り添った議会にしてまいります。よろしくお願い申し上げます。

パルテノン大通り等で「ほこみち」の活用を検討します

第53号議案 多摩市市道における道路構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について



議案の内容

令和2年に道路法の一部が改正され、関連して道路構造令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、関係規定の整備を図る。主な改正点は、①車道の左側に「自転車通行帯」を新たに規定。②自転車走行専用となる「自転車道」を新たに規定。③自動車自動運転のための設備を道路付属物として新たに規定。④多摩センター地区の自転車歩行者専用道路などにベンチ・テーブルの設置や飲食・フリーマーケットなどを開催できる仕組みとして「歩行者利便増進道路」(通称：ほこみち)を新たに規定。

確認したこと

- ・市には自転車道の対象候補となる市道はないが、今後、自転車や電動自転車がさらに普及していくことが見込まれるため「道路整備計画」の改定の中で、時代の情勢に応じた検討をした上で、必要であれば自転車道を設置していく。
- ・歩行者利便増進道路の指定は、現在、多摩センター活性化推進会議で検討している。多摩センター駅前以外の部分は、道路整備計画の改定の中で検討していく。

「女性差別撤廃条約選択議定書」の速やかな批准を求める意見書を提出します

委員会提出議案第2号 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書



議案の経緯

生活環境常任委員会に付託された、「4陳情第4号 「女性差別撤廃条約選択議定書」の速やかな批准の為、政府に意見書提出を求める陳情」を審査した結果、国会及び政府に対して意見書を提出することで全委員の意見が一致したため、委員会提出議案として本会議に提案し、本会議でも全員一致で採択された。

基本計画も、「選択議定書については、諸課題の整理を含め、早期締結について真剣に検討を進める。」としています。

国際的な男女平等の度合いを示す「ジェンダー・ギャップ指数」で、日本は156カ国中120位です。日本の女性の地位と権利は、国際基準に達していません。男女の賃金格差は大きく、非正規で働く女性の比率は半数を超え、シングルで子育てする困難さは言葉に尽くせないほどです。これらの実情は日本のジェンダー平等の遅れを示すものです。裁判所の判決にも、国際的な条約には盛り込まれているジェンダー平等という視点が十分に反映されているとはいえません。

女性差別撤廃条約選択議定書の批准は、この現状を変え、女性の権利を国際基準にする重要な第一歩です。

よって、多摩市議会は、国会及び政府に対し、日本が男女平等社会を実現し、また人権の先進国として国際社会の信頼を得るために、我が国の司法制度や立法政策との関連での問題、個人通報制度を受入れる実施体制等の課題を早急に解決し、女性差別撤廃条約選択議定書を速やかに批准するよう強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

■意見書全文■

「女性差別撤廃条約」は1979年に国連総会で採択され、日本は1985年に同条約を批准しました。「女性差別撤廃条約選択議定書」は、女性差別撤廃条約の実効性を高めるために、1999年に国連で採択された付属の条約ですが、日本はまだ選択議定書に批准していません。世界では、女性差別撤廃条約の締約国189カ国のうち114カ国が、選択議定書を批准しています。

選択議定書は個人通報制度を定めています。これは、条約に定める権利が侵害され、国内手続きを尽くしても権利回復がなされない個人が、女性差別撤廃委員会に通報して救済を求めることができる手続きです。日本政府も、個人通報制度は「条約の実施の効果的な担保をはかるといふ趣旨から注目すべき制度」だと述べ、2020年末に閣議決定された第5次男女共同参画

6月議会で話し合い、決まったこと。主な内容をお知らせします。

提出した意見書

意見書は、市の公益に関することについて、多摩市議会として国や東京都に意見を表明するものです。※全文は、多摩市議会ウェブサイトをご覧ください

件名	概要	提出先
女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書	上記、意見書参照	内閣総理大臣 総務大臣 など
船舶免許の厳格化と海上交通安全の推進を求める意見書	プレジャーボート等の事故を防止するための管理・安全航行の強化、小型船舶操縦士免許試験や特定操縦免許の厳格化等、観光船(寒冷地)への救命いかだ搭載義務付けと補助の検討、船舶旅客事業者の安全管理に関する国のチェック体制の強化等の実現を強く要望する。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 国土交通大臣
環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書	環境教育の推進及びカーボンニュートラルの達成のため、学校施設に関するZEB化の新たな技術の開発や周知を行うことや、学校施設整備に対する事業予算額を増額することに留意して、環境を考慮した学校施設のさらなる整備推進を行うことを強く求める。	文部科学大臣 農林水産大臣 国土交通大臣 環境大臣

市長所信表明への 代表質問

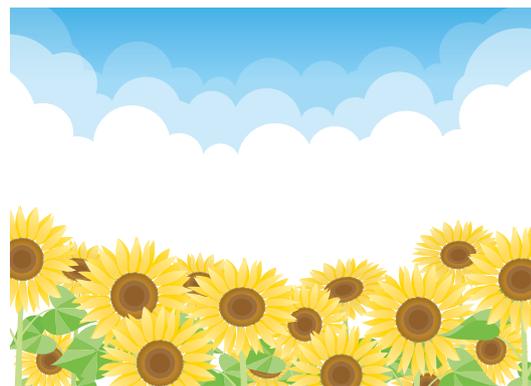
6月の多摩市議会第2回定例会では、市議会の5つの会派が代表質問を行いました(発言順に掲載します)。

所信表明とは、市長就任にあたり、就任期間である4年間について自分の考えや信念、市政運営の基本方針などを示すものです。

代表質問とは、市長の所信表明について、会派を代表し大局的見地から行う質問です。

なお、**市長所信表明**は**多摩市公式ウェブサイト**で、**代表質問**は**YouTube**でご覧いただけます。

また、会議録は9月上旬以降、市内の各図書館や多摩市議会のウェブサイトでご覧いただけます。



所信表明
(令和4年6月)



YouTube
多摩市議会チャンネル



多摩市議会会議録
検索システム



新
政
会
山
崎
ゆ
づ
じ

最期の時を迎えるまで安心して住めるまちづくりへ

◇健康都市の実現をめざして

問 75歳以上の方の身体能力の維持と認知症予防が大きなポイントと考える。高齢者が現在住んでいる地域に安心して住み続けるために、市としてどの様に取組まれるのか伺う。

答 多摩市版地域包括ケアシステムをさらに深化させる。

問 特別養護老人ホームの待機者数が今後さらに増えると予想される。市の取組を伺う。

答 必要なサービス量を計画的に確保できるよう努めていく。

問 障がい者の「親亡き後問題」についてグループホーム、就労継続支援A型B型事業所は足りているのか、経済面など将来への不安を持たせない支援は十分できているのか。

答 住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう支援の取組を進める。

◇持続可能な多摩市をめざして

問 少子化への対策をもう一步踏み込んで対応すべきと考えるが、夫婦、親子、家庭への支援について市の考えを伺う。

答 子どもの最善の利益を意識し取組を進める。

問 太陽光発電を設置可能な場所に全て設置したとして市内のCO₂排出ゼロは達成できるのか。2050年CO₂排出ゼロに向け市が描くビジョンを伺う。

答 まずは2030年までのカーボンハーフに向け具体的な計画を策定する。

問 ロシアのウクライナ軍事侵攻から日米同盟及びアメリカの核の傘の存在が重要だと考える。市内アメリカ軍施設との交流について市の見解を伺う。

答 施設との交流は重要であり取組んで行く。



日
本
共
産
党
小
林
憲
一

「平和・人権」推進、「ケアに手厚い」市政実現へ

◇憲法9条こそ戦争を起こさせないしくみ

問 「国連憲章違反は許さない」の世論によるウクライナ侵略の解決が重要ではないか。

答 国際社会は外交的な解決が図られるよう、連帯して努力し続けることが必要と考える。

問 ウクライナ危機の最大の教訓は、憲法9条こそが「戦争を起こさせない最も有効なしくみ」ということであり、9条を壊すことには自治体の長として「ノー」の声を上げるべきではないか。

答 憲法の三大原則を堅持し、次の世代に引き継がなければならない。

問 気候危機打開のために、多摩市から石炭火力発電ゼロの声を上げるべきではないか。

答 石炭火力発電は、可能な限り早くゼロにすることが望ましい。

◇厚生荘病院再開を求めていく

問 厚生荘病院閉院は「地域医療提供体制」維持に逆行するものではないか。

答 (厚生荘病院の)建て替えに向けて準備が進むことを願っている。

問 子どもの国保税の減免・軽減について、多摩市の独自策をとるべきではないか。

答 国と東京都に軽減策がさらに充実するよう強く要望していく。

問 補聴器購入費補助に踏み出すべきではないか。

答 介護保険などの第9期(2024~26年度)計画に向けた高齢者実態調査のなかでニーズ把握に努める。





公明党
あらたに隆見

市民サービス向上で誰もが笑顔になる施策の創造を！

◇10年先を見据えた取組みを

- 問 新たに取組む総合計画は、公明党の提案で実現した小学校の屋内プール指導のように、多くの方に喜んでもらえる施策がどんどん出るような計画になってもらいたい。今回の総合計画策定の業務委託先の選定時のDX(デジタルトランスフォーメーション)等の専門性についての考えを伺う。
- 答 10年先を見据えて環境共生都市や健幸まちづくり、DXの取組みなどの事業者の知見を見ながら選定していく。
- 問 DXの推進体制やAIの活用、情報発信などの専門的なスキルを要する人材育成の取組みを伺う。
- 答 若手職員の発想も取入れ、一般的な知識・推進していく知識・新技術の運営などの専門的な知識などを、職層や業務に応じたスキルUPを行う。

◇サービス充実への働き方改革を

- 問 地域コミュニティの力を醸成するための地域協創において行政が担う役割を伺う。
- 答 地域をつなぐ・支える・人材を掘り起こす役割を担い地域担当職員を配置する予定。
- 問 地域の取組みは土日や夜行われる。地域担当職員が力を発揮するには勤務体制の検討が必要。この取組みは市民ニーズに合わせた職員の働き方や、新たに建てる本庁舎の規模や機能に大きな影響が出る。まずは庁内の業務について仕分を行い、市民ニーズに応えられる働き方改革を進めるべきではないか。
- 答 本庁舎の建替えを一つのターニングポイントと捉えるがそれまでに業務の精査をし、日々の改善をしていく。



フェアな市政
岩永ひさか

3期12年間の経験を活かしたリーダーシップを！

◇未来につながる地域づくりを

- 問 50年後を見据えた市政運営に向けた現状の課題と解決策、特に地域社会の在りようをどう描いているのか伺う。
- 答 人口構成や社会環境の変化、市民の価値観の多様化、デジタル技術の伸展、気候変動や感染症など、従来の手法では解決しきれない課題の多い「正解のない時代」に突入していると考え。また、地域社会についても、自治会や既存の組織などの担い手だけで対応することが困難になっており、これまで以上に新たな自助・共助・互助・公助がうまく循環していく仕組みを作らねばならない。そのために地域資源を活用し、地域の人材を発掘し、コーディネートを担う「地域担当職員」の配置に取り組んでいく。

◇未来の地球を考えたまちに

- 問 「環境共生型都市」をめざすためには、新たな基本構想(長期ビジョン)づくりに「ワンヘルス」を意識し、今後、開園をめざす「農業公園」は環境保全型農業を基調とした、アグロエコロジーを学べる場にしてほしい。また、ニュータウン再生、新たなまちづくりの視点に「自転車文化」を位置付けることは面白いと思うが見解を伺う。
- 答 気候変動、地球環境問題への取組みは最重要事項と考える。ワンヘルス、アグロエコロジーの視点は大事な視点であり、意識していきたい。また、環境配慮と健康増進の点からも「自転車文化」には着目をしてみたい。



ネット・社民の会
岩崎みなこ

市民の暮らしを守るために

◇守るべき地球環境とは

- 問 連光寺に整備中の農業公園は、連光寺・若葉台里山保全地域の中にある。そのため、環境保全型農地であるべきである。同時に、「市」「東京都」「守る会の市民」を含めた定期的な情報共有の枠組みを設置できないか。
- 答 環境部と農政の所管で連携し取組みを進める。市民を含めた枠組みは設置する。
- 問 本市は議会と共同で気候非常事態宣言を出した。気候変動対策のひとつにプール授業の外部委託があるが、年に5時間さえも、屋外の学校のプールに入れない程、異常な気候だと、子どもたちにしっかりと伝えるべきだ。その上で解除するにはどうしたらいいかを、学校は教育していくことが必要ではないか。
- 答 子どもたちには、宣言が出ていることは、伝えてい

る。環境についてはSDGsの「気候変動に具体的な対策を」の達成に向けた学びをESDの中で実施する。

◇守るべき子どもの権利とは

- 問 4月施行の「多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」について相談体制、救済制度といった仕組みづくりと同時に、子ども自らが話しやすいような働きかけが必要である。例えば、話したら「告げ口になる」と思わないように「相談」と「告げ口」は違うなど、分かりやすく伝えるべきではないか。
- 答 そうした取組みは重要との認識だ。相談のハードルを下げる具体的な取組みを、子どもの視点で考えていきたい。

市政に関する

一般質問

要旨

第2回定例会では、17名の議員が質問を行いました。質問は、インターネット上で録画をご覧ください。



Youtube 多摩市議会チャンネル

YouTube 多摩市議会 で検索してください。



「初夏の花」
撮影者：北芳さん
撮影場所：多摩中央公園



渡辺しんじ (公明党)

多摩市のインバウンド戦略と観光力について

- 問** 国はアフターコロナを見据え、インバウンド(訪日外国人観光客)需要回復に向けた取組みを始めた。多摩市のインバウンド需要に対する見解を伺う。
- 答** 市内には国内外へ訴求力があるテーマパークが立地している。恵まれた環境を活かし、インバウンドの誘致は積極的に行っていく。
- 問** インバウンドの困りごとに言葉の壁がある。市内中学生の英語力アップに繋がる通訳ボランティアを募ってはいかがか。
- 答** 実践の場は重要と考える。感染症収束のタイミングを捉えて、前向きに検討する。
- 問** 滞在型のインバウンドと国内観光客を誘致するため、付加価値をつける必要がある。中央公園にフィールドアスレチック、パルテノン多摩大階段の上からジップライン、世界的に評価が高い日本酒ブースなど、大胆な発想で観光力を高め、市内経済の活性化に繋げてもらいたいかがか。
- 答** 国の動向を注視して、市内外の人で賑わうまちづくりをめざしていく。



本間としえ (公明党)

市民に寄り添う「おくやみコーナー」の設置について

- 問** 多摩市は高齢化が進み、亡くなる方が増加している。市役所での手続きをスムーズに、ご家族に寄り添った案内をするために、おくやみコーナーの設置を求めるがいかがか。
- 答** 家族が亡くなった時の手続きの負担軽減は大きな課題であり、おくやみコーナー設置に向けて検討する。
- 問** 市役所の狭隘化に対する改善対策の中で、市民課におくやみコーナーを作ることができないか伺う。
- 答** スペース的な課題、人的な問題の検討も必要だが、できるところから工夫していく。
- 問** ご家族が亡くなった際の手続きの問い合わせがあった時に、現在どのように行っているか伺う。
- 答** 所管に電話を転送して説明するリレー方式で案内している。
- 問** 市民が亡くなった時の市役所内の手続きと市役所以外に必要な手続きについて、必要書類・連絡先等も掲載したおくやみハンドブックの作成を要望するがいかがか。
- 答** 行政・民間を含む多くの手続きが網羅されるハンドブックは有用であり、作成に向けて検討する。



安斉きみ子 (日本共産党)

1. 在宅者にさせない…障がい児・者の卒後対策
2. 投票行動を促す市選管の役割

- 問** 通所の生活介護利用者の5割、就労継続支援B型利用者の3割が多摩市以外の事業所を利用。これで多摩市内の事業所の受け入れは充分と言えるのか伺う。
- 答** 自宅からの利便性から通所先を他市に求める場合もあると考える。
- 問** 重症心身障がい児の卒後の受け入れが限界と聞く。市の対策を伺う。
- 答** 特別支援学校関係者等と市障害所管が連携しながら対応を図る。
- 問** 学校跡地活用で通所施設等を建てるのはいかがか。
- 答** 関係機関と協議する。
- 問** 多摩市選挙管理委員会(選管)の「主権者教育」の現状と課題を伺う。
- 答** 令和3年度は、小学校13校、高校1校で開催。課題は継続的に実施できる仕組みづくりが必要である。
- 問** 団地住民から「身近な団地集会所に投票所の設置を」という陳情が選管に提出された。選管の回答を伺う。
- 答** 選管の定例会において、現段階では現状維持が望ましいと、まとまった。





石山ひろあき (新国会)

1. 地元野菜、今後の情報発信について
2. 多摩市の災害における対策
3. シティセールスについて

問 地元野菜を飲食店や企業に活用してもらえるように農家・飲食店・企業のマッチングをしてみたいか。

答 今後の販路拡大や営農意欲の向上にも繋がるのでマッチング事業を前向きに検討していく。

問 近隣の保育園や幼稚園に通われている保護者の方に agri agri (アグリアグリ) さんの情報や「いきいき市」のお知らせなど PR すべきではないか。

答 今後、重要な視点と考えているので新たな手法について検討する。

問 多摩市は災害発生時、外部給電できる電動車両を貸与できる協定を結んでいないが現在の市の状況を伺う。

答 電気の重要性をあらためて実感している。本市においても協定締結に向けて調整している。

問 インフルエンサーによる情報発信、管理職向けに SNS 研修などを実施してはどうか。

答 SNS 研修も必要だと考えており、インフルエンサーとなり得る人材の育成と発掘を検討していきたい。



藤条たかゆき (新国会)

1. 学校でのマスク着用について
2. いじめの実態把握から対処まで
3. 教職員の働き方改革へ

問 大人の安心の為に子どもの安全が脅かされてはならない。熱中症リスクが高まる時期、体育の授業など教員が積極的にマスクを外すよう指導すべきであるがどうか。

答 マスクを外すべき場面では教員が率先してマスクを外すことについて指導していく。

問 いじめに関しては早期発見・早期対処が何より肝心。子どもたちの小さな発信を捉えられる体制の構築、具体的には LINE での相談窓口を早期に開設すべきである。また、プッシュ型の情報提供では「こうしたこともいじめに当たるんですよ！周りでありませんか!？」といった投げかけを定期的に行うべきであるがどうか。

答 あらゆるチャンネルを活用して発信していきたい。

問 部活動指導などでも、様々な主体の相互協力・相互支援を構築し、地域連携していくべきと思うがどうか。

答 教員の自発性による業務とされている部活動について、スポーツ庁からの提言も踏まえて地域との連携を模索していきたい。



岸田めぐみ (ネット・社民の会)

多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例を生かし、子どもの権利が保障される学校に

問 学校は外国にルーツのある子、LGBT の子、障がいのある子など、多様な子どもたちが大半の時間を過ごす場でもあり、子どもたち一人ひとりの権利が保障されることは必然だ。条例の理念をかみ砕き、本市に暮らしている子どもの現実に即して権利を保障するために、学校を条例の計画に入れる事は欠かせないと思うがどうか。

答 対象の世代に総じて対応を進める必要があるが、集団の中で学ぶ重要性についても認識している。義務教育の中で引き続き取り組んでいきたい。

問 教育振興プランには条例の理念が入るのか伺う。

答 改定の際に当然に盛り込む。単年度ごとの実施計画にも少しずつ取込んで進めている状況である。

問 学校は条例の中では市民の枠に入っているが、要の一つであると考え。計画ではどうするのか伺う。

答 条例の第6条には市の役割があり、市は教育委員会も含めた執行機関である。2025年度の計画改定には各部署の計画を織り交ぜ、連携をしながら作っていき



大野まさき (フェアな市政)

1. 多様な人の孤立・不安を減らす取組みについて
2. 今後増す公としての役割について

問 様々な困りごとへの対応でその人が精神疾患を抱えているという背景にも向き合わなくてはならない事例が少なくないと思われる。市職員の研修等はどうか。

答 昨年度は、全職員対象の合理的配慮のポイント等の説明会や、多摩市版地域包括ケアシステム研修を実施した。

問 市のヤングケアラー実態把握の現状はどうか。

答 子ども家庭支援センターでの相談で、日常家事等を中心に担う子どもが把握された場合、関係機関と連携し支援している。今年度は小学生から高校生世代にヤングケアラー実態把握調査を実施し、今後の支援策を検討したい。

問 地域を支える役職のなり手がおらず、欠員状態が続く例が見受けられる。今後のあり方として、市職員が直接、問題の発見や気づき、最初の対応も含めて行っていかなければならない部分があると考えているが、どう考えるか。

答 部署横断的連携で専門職のネットワーク強化、地域課題の共有、地域資源の創出にも取り組む多摩市版地域包括ケアシステムの相談支援体制の構築に向けて検討している。



LGBT ユース居場所「にじーず多摩」についても質疑



斎藤せいや (壮士の会)

- 1.部活動について
- 2.プログラミング教育のその後について

- 問** 部活動の地域移行について教育委員会の見解を伺う。
- 答** 教員の負担軽減や休日における生徒の活動機会を確保するためには部活動の地域移行の検討が必要である。情報収集に努め、持続可能な部活動運営のあり方を検討していく。
- 問** 部活動の地域移行後、休日の部活動に意欲的な教員がいた場合はどのように対応していくのかを伺う。
- 答** 兼業・兼職について慎重に検討していく必要があると考えている。
- 問** 中学校でのプログラミング教育が始まったが課題はどのようなものがあると考えているか伺う。
- 答** 身につけた資質・能力が横断的・総合的に発揮されるように指導を進めることが今後の課題である。
- 問** 児童生徒に一人1台のタブレット端末を配備したが、プログラミング教育に影響・効果があったのか伺う。
- 答** 「教材の活用が広がった」「個別の学習機会が拡充された」という声が教員からあがっている。



折戸小夜子 (フェアな市政)

- 1.戦争はやってはいけない！！
- 2.シルバー人材センターの運営状況

- 問** ロシアがウクライナを侵攻し、悲惨な実態が毎日テレビで放映されて心が痛む。戦争を知らない子どもたちに自分ごととして戦争の実相を学ぶ機会を多く作ることは、この時期重要だ。身近に戦争の実像を学ぶ場所がある。明治大学生田キャンパスの明治大学平和教育登戸研究所資料館は、戦前日本の戦争・軍隊を知る上で、きわめて貴重な戦争遺跡の一つである。ぜひ小中学生の平和に関する社会科見学に組み入れて実施することを提案するがいかかか。
- 答** 社会科見学の実施や場所の選定は、各学校の教育計画を踏まえ学校行事を調整し設定している。教育委員会が一律に場所を指定する趣旨のものではない。しかし、平和教育を充実させる視点で小中学校教育研究会の社会科部の教員への紹介を検討する。



きりき優 (新政会)

- 健幸都市実現に向けた多摩市の介護福祉基盤整備とスポーツ施策の在り方について

- 問** 物価や燃料費の高騰による介護福祉事業者への負担を企業努力のみで吸収することは難しい。介護職員への処遇改善のためにも事業所支援が必要ではないか。
- 答** 現場の声を聴きながら検討を進めていきたい。
- 問** 介護や福祉サービスを担う人材の確保が困難な状況が続いている。資格取得支援拡充の考えはあるか。
- 答** 多摩市では介護職員初任者研修の資格取得補助を行っているが、今後は実務者研修も対象としていく。主任介護支援専門員研修等についても検討したい。
- 問** 健幸都市実現に向けて、学校卒業や部活動引退で運動習慣が途切れないような取組みも必要ではないか。
- 答** スポーツ施設の立地や整備の質も課題であり、スポーツをやりやすい環境が必要。続けてきたスポーツを継続できる環境サポートについても考えていきたい。
- 問** 時代に即したスポーツ施策整備をどう考えるか。
- 答** 駐車場の充実について検討を進める。また、プロスポーツクラブの力も借りて地域活性化を図りたい。



大くま真一 (日本共産党)

- 1.配置に濃淡！気軽に立ち寄れる地域子育て支援拠点に
- 2.物価高騰！国へ交付金の増額要求を

- 問** 高く評価しているからこそ、地域子育て支援拠点施設の配置にばらつきがあるのが残念。国目標の「中学校区にひとつ」になっていない。妊婦さんでも子連れでも、歩いて行ける身近な施設が必要。どうしているか。
- 答** 児童館や週一回程度の出張ひろばで対応している。
- 問** 子育て世代を呼び込むためにも、市内にまんべんなく配置することが必要ではないか。
- 答** 多摩市の子育て環境をPRするためにも、空白エリアをどう埋めていくかは課題。検討を進める。
- 問** 世界情勢にくわえ、アベノミクスの失敗による異常な円安が物価高騰に追い打ちをかけている。給食費の値上げを防ぎ、質・量の確保もすべきではないか。
- 答** 質・量・安全性を確保する。
- 問** 国は交付金を決めたが、全然足りない。支援を進めるためにも交付金の増額を要求すべきではないか。
- 答** 全国市長会でも地方財源確保が求められている。声をあげるべき時には、あげていきたい。





三階道雄 (公明党)

- 1.物価高騰に伴う多摩市の対策について
- 2.「平和」について考える

問 公明党は物価高騰から生活を守るため緊急提言を岸田首相に提出。地方創生臨時交付金を拡充すべきとし、政府も1兆円の拡充をした。その交付金を活用し「学校給食費の値上げを避けるべき」との要望書を公明党市議団として4月27日市長と教育長に提出したが返答について伺う。

答 要望書をいただいた。前向きに検討している。

問 給食を提供している、保育所・幼稚園・介護施設などへの補助の考えについて伺う。

答 調査をして、検討している。

問 キャッシュレスでGO!GO!キャンペーンを行うべき。また下水道料金も軽減すべき。考えを伺う。

答 キャンペーンは前向きに検討する。下水道料金は厳しいが、何かしらの減免が出来ないか検討する。

問 ロシアの影響により、戦争・平和について市民意識が高まっている。今だから平和事業の拡充や平和の学校授業が大事である。取組みについて伺う。

答 同感であり検討する。授業についても検討する。



しらた満 (フェアな市政)

- 1.自治基本条例と公共施設と庁舎建替
- 2.多摩市立中央図書館の現在と今後

問 自治基本条例が今年の8月で施行18周年を迎える。令和4年多摩市政世論調査報告書から、「条例を知らない」80.1%、平成19年の報告書では、「知らない・名前は聞いた事がある」93.1%。条例には情報の共有が定められており、レンガ坂の改修やこれからの庁舎の建て替え、狹隘化対策として一部事務機能をベルプ永山に移転予定など、市民とどこまで内容が共有できているのか、市民と情報共有されたと判断する時は何を根拠として判断しているのか、問う。

答 同条例第3章「情報共有」及び規則において定める公表や提供の規定に基づき行うことで共有が図られたものと考え。条例を知ることをめざすのではなく、条例にある市民主体のまちづくりを進めることをめざす。

問 中央図書館新築工事は、物価高騰など工事費増額の補正予算が上程されている。今後、庁舎、学校給食センター改修、不登校特例校などの大きな財源の物ばかりある。来年7月にグランドオープンとなるが、現状と今後の進め方について、問う。

答 運用の中での効率化とバランスをとり、最小経費で対応できるよう検討している。



橋本由美子 (日本共産党)

- 1.理解して生理・更年期のこと
- 2.都立高校受験科目にふさわしくない英語スピーキングテスト

問 女性が働き続けるためにも、生理や更年期を理解し合えるのは重要。市役所では研修などあるのか伺う。

答 理解促進のため研修を実施した。女性職員への配慮も含めよい職場環境を作っていきたい。

問 健幸まちづくり推進室が民間企業・学校等に「健幸ワーク宣言」を呼びかけているがどのような内容か。

答 従業員の健康と幸せを推進するため、子育て・介護等と仕事の両立の取組みを宣言してもらう予定である。

問 パパママ学級等で、女性の生理・更年期・避妊などを理解・尊重し合えるよう内容を工夫してほしい。

答 夫婦で参加していただく方が多い。お互いに人権が尊重されるものにしていきたい。

問 英語のスピーキング力向上は重要だが、採点の基準も不明確なまま、テスト結果を都立高校入試の点数とすることは問題ではないのか。

答 多摩市の生徒は話せるようにと努力している。不安を感じることはないよう情報提供に努めていく。



都立永山高校



池田けい子 (公明党)

- 1.若者・子育て世代に選ばれる多摩市に
- 2.特別支援教室専門員について

問 ターゲットを絞った定住促進の展開として、若者が注目している「結婚新生活支援事業」の導入を要望するがいかがか。

答 ライフステージに合わせた住宅等の支援も重要と考えており、導入に向けた研究をしたい。

問 「三世代近居・同居促進助成制度」の周知の工夫、賃貸物件やパートナーシップを踏まえた要件の拡大、申請・引越し期限の改善を求めようか。

答 親世代へのアプローチ等周知に努め、多摩市の要綱変更も含め検討をしていく。

問 管理が困難になっている私有地のみどり(管理組合の樹木や個人宅庭等)は、景観的にも問題が生じている。対応が必要ではないか。

答 「みどりのルネッサンスへの取り組み」をもとに、民有地へのサポートも視野に検討を進める。

問 特別支援教室専門員など、学校に勤める会計年度任用職員等の給食費納付方法の改善を求めようか。

答 まずは、身近にある銀行で納付ができるよう検討する。





いぢち恭子 (ネット・社民の会)

- 1. 都立高校入試へのスピーキングテスト導入について
- 2. 生活保護制度の現状と今後について

問 ESAT-J(中学校英語スピーキングテスト)の実施は今年11月末で、結果が出るのが1月中旬と聞く。推薦入試に間に合うのか。

答 推薦による選抜は対象外となる。

問 それは入試として不公平と感じる。またESAT-Jは申し込み制だが、受験を希望しない生徒の評価はどうするか。

答 病気等やむを得ない理由で不受験となった生徒に対しては、学力検査で得点の生徒の成績を適用し、それ以外の生徒は0点となる。

問 100点満点の成績を6段階に評価する形式であり、基準を見ると1~34点の場合はすべて4点となる。不受験者の扱いと同様、適切な評価方法とは思えない。さらに、テストを行うのは過去に情報漏洩を起こした民間業者なので、そこに生徒の個人情報を委ねるのは心配ではないか。

答 機密漏洩の防止が図られている。



板橋 茂 (日本共産党)

- 1. 頻発する地震と豪雨被害に備え「多摩市地域防災計画」の充実を
- 2. コミュニティセンターのより一層の利活用を

問 修正から6年が経過している多摩市地域防災計画の修正はいつか。

答 新型コロナウイルス感染症対策など喫緊の課題の取組みを含め、6月の多摩市防災会議で地域防災計画の修正版が決定された。7月をめどに発行する予定だ。

問 二次避難所としての福祉施設やコミュニティセンターへ避難備品は事前に備えておくべきではないか。

答 近隣他市の状況も参考にしながら、福祉関係施設と改めて災害時の対応について協議したい。

問 避難所にとって何より重要なのはトイレである。災害時トイレの整備計画を求めるがいかか。

答 庁内関係課が連携を図り、災害用トイレ配備に取り組む。コミュニティセンターや小中学校等の大規模改修時に下水道管を活用したマンホールトイレの設備も進める。

問 児童館を併設している「トムハウス」利用者からの児童館の日曜開館を求める声に応えるべきではないか。

答 平日の休館は学童のランドセル来館を実施している状況からも適さないと考える。



議会の活動をのぞいてみませんか？

Q. 多摩市議会のFacebookでは何が見られるの？

A. Facebookでは、定例会会期中の本会議や委員会の予定、視察の様子などをお知らせしています。ぜひご覧ください！
右記の二次元コードを読み込むか、「**多摩市議会 Facebook**」で検索してください。

~多摩市議会では、YouTubeでの議会中継やFacebookでの情報発信を行っています！~



Facebookはこちら



YouTubeはこちら



令和4年第2回定例会での一般質問の様子は
こちら



Q. YouTubeの視聴方法は？

A. お持ちのパソコン、スマートフォン、タブレットなどでご覧いただけます！
右記の二次元コードを読み込むか、「**多摩市議会 YouTube**」で検索してください。
YouTubeでは、本会議や委員会の様子を生中継しています。また、過去に行われた審議の録画映像もご覧いただけます。

Q. 各議員の一般質問を冒頭から視聴したいのですが…

A. 多摩市議会ウェブサイトの「一般質問・代表質問」ページに掲載したリンクをクリックすると、各議員の一般質問を冒頭から視聴できます。

春の議会報告会 オンラインで配信中

多摩市議会では、「もっとよく見え、わかりやすく、市民が参画できる議会」の実現のため、毎年春と秋に、市民の皆さんに向けた議会報告会(意見交換会)を開催してきました。

新型コロナウイルス感染症対策として、昨年の秋に引き続き、この春も議会報告会をオンラインで配信しています。



動画はこちらからご視聴いただけます

▶配信内容

- 1. 第1回定例会の審議概要
- 2. 令和4年度予算審議報告
- 3. 新議長・新議員報告



市議会の各会派を紹介します！



議会の意思は、多数決により決定します。議員の考え方を効果的に市政に反映させるために、市政に関する考え方を同じくする議員が集まり会派がつくられています。

現在、多摩市議会には7つの会派があります。

新政会

日頃より地域の活動や、お祭りなどの伝統行事に積極的に関わり、地域の皆さんとの交流を通して地域の抱える問題を捉え、問題解決に取り組んでいます。

また勉強会にも積極的に参加し、市政はもちろん、都政や国政についても見識を深め、議員としてのレベルアップに努めています。

議長を出す最大会派として、安定した議会運営に努めると共に、都政、国政との太いパイプを活かし、市民の皆さまの抱える問題解決に取り組んでまいります！



前列：左から、いいじま、松田、きりき
後列：左から、石山、山崎、藤條

公明党

人と人のつながりが希薄化する中、コロナ禍が追い打ちをかけ、地域でも、孤独や孤立の問題が顕在化しています。だからこそ、政治がもっとお一人おひとりに寄り添い、声を伺い、具体的な政策を通じて、後押しをしなければなりません。

公明党は一貫して小さな声に耳を傾けてまいりました。立党精神である「大衆とともに」を胸に、現場第一主義をモットーに全力で市民の皆様のために働いてまいります。



左から、渡辺、池田、三階、本間、あらたに

日本共産党

私たちの仕事は、一言で言えば、市民お一人おひとりが「健康で文化的な」生活をおくれるようにすることです。その方法は、大きく分けて2つあります。

1つは、多摩市、東京都、そして国の法令や制度を改革していくことです。一般質問や質疑など議会での論戦を通じて、市民に役立つしくみづくりに励んでいます。もう1つは、市民の困りごとと解決です。一緒に市役所の窓口にも出かけ、解決するまで働きかけます。



パルテノン多摩大ホール前で。
左から、小林、橋本、板橋、安斉、大くま

フェアな市政

立憲民主党2名と政党に所属しない2名の議員で構成していますが、「政党に所属するしないに関わらず、一人ひとりがまずは地域で暮らす一員」であることを強く意識し、議会活動に取り組んでいます。将来を見据える「あれもこれも」と市政運営に大風呂敷を広げることにはできないからこそ、市民と共にまっとうに、フェアな議論を積み重ね、子どもたちの未来に責任のあるまちづくりを考えていきたいと思っています。



左から、折戸、大野、しらた、岩永

ネット・社民の会

私たちは女性3人の会派です。生活者ネットワーク2名と社民党1名です。

私たちは人権・環境を何よりも重視しています。その視点で市や都・国の政策を見つ、市政に反映し改善する努力をしています。

コロナ禍3年目、ロシアの軍事侵攻などにより声が出しにくい、弱い立場の人たちのくらしの困窮、子どもたちの心の深いところの傷つきに対し、今まで以上に強い危機感を持っています。

常に、市民の皆さんからの声を大切に、共に考え、行動します。



左から、いぢち、岩崎、岸田

壮士の会

私たち壮士の会は、党派に属さない無所属議員です。

1. 活力あふれる多摩市。
 2. 未来を担う子どもたちの笑顔を守る。
 3. 一人ひとりの個性が大切にされる社会。
- を基本理念として、市民生活に関する身近な問題から将来のまちづくりまで、市民の皆さんの声を原点に課題解決に取り組んでいます。



左から、斎藤、しのづか

志政会

政治の原点は市民生活にあり。皆様と共に安心の未来づくりを進めます。3年間の議長経験を活かして、より公正で公平な政治を買きます。



藤原

常任委員会 「所管事務調査」中間報告



多摩市議会では、4つの委員会がそれぞれ2年間のテーマを選定し、調査・研究を行っています。今期は、3つの委員会が2年間のテーマを「所管事務調査」に位置付けました。

※所管事務調査とは

各常任委員会は、その委員会の担当している市の事務(所管事務)について調査を行い、提言・提案などを行うことができます。

総務常任委員会

市民が望む庁舎建て替えについて

視察による新しい発見

5月13日に建て替え事業の取組みを終えた清瀬市への視察を行いました。

免震構造などの防災機能強化、屋上を活用した養蜂事業、壁を可動式にした議場などを参考にさせていただきました。

中でもコスト削減や効率性を高めるための様々な考察はこれからの取組みに直結し、新たな発見の場となりました。

有識者懇談会の報告と質疑

6月6日には3回目の勉強会を開催し、5月30日に開催された多摩市役所本庁舎建替基本構想策定有識者懇談会の内容について報

告を受けました。

コロナ禍もあり、市民サービスそのものの在り方が大きく変わっている中、有識者からは街づくりという広い視点で忌憚のない意見をもらったという市からの報告に対しては、広い視点や未来の話と同様に、現状の把握が重要であるといった意見や、市役所の立地についての考え方を問う質疑がありました。

今後、7月以降に開催される市民フォーラムへの参加、また、引き続き開催される勉強会を中心に調査研究を進めていきます。



清瀬市役所地下階の免震装置

生活環境常任委員会

「多摩市気候非常事態宣言」の具体化について

知識を深めるための取組み

所管事務調査に位置づけてからの1年間、宣言の具体化に向けてまず知識を深めるため昨年10月と11月の2回、講師を招いた勉強会を行いました。

また、昨年12月から今年4月にかけては、先進的な取組みを行っているトヨタ西東京カローラ桜ヶ丘店、自然エネルギーの普及に携わっている多摩電力合同会社及び一般社団法人多摩循環型エネルギー協会、環境配慮に関する取組みを紹介している長谷工マンションミュージアムの3か所に視察に伺いました。

今後は具体化に向けた提案を

気候非常事態宣言の具体化に向けた取組みとして、これまで進めてきた勉強会や、環境に配慮した先進的な取組みをしている市内企業へヒアリングに伺った成果を整理し、報告書にまとめていくことにしました。加えて、所管課へのヒアリングや先進市への視察を通して、本市でもできそうなこと・推進すべきことを調査し、市への提案とすることをめざし進めていくこととしました。



長谷工マンションミュージアム

子ども教育常任委員会

GIGAスクール構想について

授業の状況と勉強会の実施

生徒一人1台のタブレット端末、学校の通信環境を整備するGIGAスクール構想。タブレット導入時は児童・生徒が使いこなせるのか、教員への負担はどうかなど様々なメリット・デメリットが予測されていました。その状況を調査すべく昨年は市内の授業を視察、また教育長や講師を招き勉強会を行いました。

先進市へ視察調査

5月17日には荒川区立尾久宮前小学校を視察。荒川区では平成26年度からは全校に、タブレット端末一人1台体制を導入しており先駆的な区です。導入当時は教員の苦手意識や負担の問題、情報

モラルの問題もあったが知恵を出し合い、児童の学びのため前向きに取り組んできたことが伺えました。

特徴としては、タブレットPCを導入しており、高学年ではキーボードでの操作・入力を行っている、ICT指導員の充実、調べ事について図書とインターネットのハイブリッド授業、多様なアプリの導入などが伺えました。

今後さらに調査し多摩市の教育環境の向上に貢献したいと思います。



尾久宮前小学校の授業の様子

審議結果 - 令和4年第2回定例会 -

市長提出議案 15件
 議員提出議案 2件
 委員会提出議案 1件
 陳情 5件

全員一致で決定した議案・陳情

<p>市長提出議案 【原案可決】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度多摩市一般会計補正予算（第2号） 令和4年度多摩市一般会計補正予算（第3号） 令和4年度総合事務管理システム用端末購入契約の締結 市道5-35号歩線道路改良工事の請負契約の締結についての議決事項の一部変更 和田中学校改修に伴う電気設備工事の請負契約の締結についての議決事項の一部変更 聖ヶ丘小学校改修工事の請負契約の締結についての議決事項の一部変更 聖ヶ丘小学校改修に伴う電気設備工事の請負変更契約の締結 多摩市介護保険条例の一部改正 多摩市市道における道路構造の技術的基準に関する条例の一部改正 令和4年度多摩市一般会計補正予算（第4号） 多摩市立中央図書館建設工事の請負契約の締結についての議決事項の一部変更 多摩市立中央図書館建設に伴う電気設備工事の請負契約の締結についての議決事項の一部変更 	<ul style="list-style-type: none"> 多摩市立中央図書館建設に伴う給排水衛生設備工事の請負契約の締結についての議決事項の一部変更 <p>【同意】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩市副市長の選任同意 多摩市固定資産評価員の選任同意 <p>委員会提出議案 【原案可決】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書 <p>議員提出議案 【原案可決】</p> <ul style="list-style-type: none"> 船舶免許の厳格化と海上交通安全の推進を求める意見書 環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書 <p>陳情 【採択】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「女性差別撤廃条約選択議定書」の速やかな批准の為、政府に意見書提出を求める陳情
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

意見の分かれた議案・陳情

議案・陳情名	新	共	公	フ	ネ・社	壮	志	結果
学童クラブ移設に関する陳情	△	△	△	△	○	△	△	趣旨採択
精神保健医療福祉の改善に関する陳情	△	○	△	△	○	○	○	趣旨採択
都立高校入試への英語スピーキングテスト導入の延期・見直しを求める意見書提出を求める陳情	×	○	×	○	○	×	×	不採択

新=新政会(6人)、共=日本共産党(5人)、公=公明党(5人)、フ=フェアな市政(4人)、ネ・社=ネット市民の会(3人)、壮=壮士の会(2人)、志=志政会(1人)
 ※新政会の会派人数は6人ですが、採決はいいじま文彦議長を除いた5人で行います。 ○：採択 △：趣旨採択 ×：不採択

閉会中の継続審査とした陳情

<ul style="list-style-type: none"> 市役所本庁舎の移転に関する陳情

継続とした所管事務調査案件

<ul style="list-style-type: none"> 市民が望む庁舎建て替えについて 「多摩市気候非常事態宣言」の具体化について GIGAスクール構想について

審議結果 - 令和4年第1回臨時会 -

市長提出議案 3件

全員一致で決定した議案

<p>市長提出議案 【承認】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩市市税条例の一部改正の専決処分 多摩市都市計画税条例の一部改正の専決処分 多摩市国民健康保険税条例の一部改正の専決処分 	<p>所属委員会等の決定 〈多摩市議会 委員会委員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 議会運営委員会副委員長 大野まさき議員 議会運営委員会 石山ひろあき議員 子ども教育常任委員会 石山ひろあき議員 <p>〈一部事務組合議会議員〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都三市収益事業組合議会 松田だいすけ議員
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



市民と議会

つながる

多摩市消防団

たま市議会だより
編集会議

多摩市消防団に聞きました

多摩市の安心安全の為に日頃から活躍している多摩市消防団ですが、どのような活動をしているのか気になっている市民の方も多いのではないでしょうか。消防団は市内で火災が発生した時は消火活動や後方支援、台風や大雪の時には市内の警戒や災害対応、火災予防の広報活動など様々な活動を行っています。また、地域の防災訓練などにも参加して防災についての指導なども行っています。

たま市議会だより編集会議は5月29日に行われた多摩市合同水防訓練に取材に行き、森久保芳康団長、佐伯一哉副団長にお話を伺いました。また、水防訓練と同時に市内各所で行われていた避難所開設運営訓練に取材へ行きました。

たま市議会だより編集会議(以下、編集会議)

普段、仕事をしている中で消防団員として活動する大変さや苦労などはありますか。

森久保団長

団員は生業を持っているので仕事との調整を取りながらの消防団活動が大変だと思います。

佐伯副団長

今はサラリーマンの団員が増えているので会社の理解を得て活動するのが苦労だと思います。また、家族の理解がないと絶対にできないことなのでそこも大変なところの1つだと思います。

編集会議

消防団活動の中でやりがいを感じる時はどんな時ですか。

森久保団長

第6分団に20年在籍して火災現場で地域の方から「ありがたい」という言葉をかけられたり、自然災害出場で感謝をされたりしたときはやっていてよかったと感じました。

佐伯副団長

消防団をやっていなかったら関わることのなかった地域の方と関わるのができ、役に立てていると思えた時にやりがいを感じます。



編集会議

一般的には消防団には「縁の下の力持ち」「大変な仕事」というイメージがありますが、実際に活動している方の意見を聞かせてください。

森久保団長

現在、多摩市消防団の団員は様々な世代・職業の方がいる中で、年齢差や体力差など色々な困難を乗り越えて1つの目標に向かって活動をしています。そのような目標を達成することで絆や団結が生まれていると思います。これが消防団の魅力の1つだと思います。

編集会議

これから多摩市消防団をどんな消防団にしたいですか。

森久保団長

常勤の消防職員などと違って、訓練の時間など大きな制限があります。このような制約がある中でも技術を磨いて、知識的にも技術的にも他の地域の消防団に負けにくいぐらいのトップクラスの消防団にしていきたいと思っています。

佐伯副団長

誰もが消防団員としてやってみたいと言われてもらえるような消防団にしていきたいです。

編集会議

消防団から議会に対して要望などはありますか。

森久保団長

現在、ポンプ操法訓練は多くの分団で清掃工場を使っていますが、移動に時間を取られることや家から遠いなどの声が上がっています。このような事態を解消するために練習場所を探すことに手を貸していただきたいと思っています。

佐伯副団長

現在の消防団はサラリーマンの団員が多いため昼間に多摩市内におらず、火災等の災害対応がうまくできない恐れがあります。このようなときに対応できるように「特別態勢」が取れるようにしてほしいです。



令和4年9月 第3回多摩市議会定例会(予定)						
日	月	火	水	木	金	土
				9/1	2	3
				本会議 (行政報告等、一般質問)		
4	5	6	7	8	9	10
		本会議 (一般質問)		本会議(議案等審議)		
11	12	13	14	15	16	17
		常任委員会			予算決算特別委員会 (決算審査)	
	総務	健康福祉	生活環境	子ども教育		
18	19	20	21	22	23	24
	敬老の日	予算決算特別委員会 (決算審査)			秋分の日	
25	26	27	28	29	30	10/1
	予算決算特別委員会 (決算審査)			代表者会議	議会運営委員会	
10/2	10/3	10/4				
	休会日	本会議 (議案等審議)				

※日程は変更になる場合があります。

※目の不自由な方へ、たま市議会だよりを音訳したCD「声のたま市議会だより(デジ版)」を発行しています (一部のパソコンでも再生可)。
申し込みは多摩市議会事務局 ☎042-338-6890へ